

中国法定感染症発病概況 2018 年 1 月

The Japan Research Institute (Shanghai) Solution Co., Ltd.
リサーチ・コンサルティング部門

■発病総数は前月比 18.3%で、例年より多く発生

当月発病総数は 827,781 例であり、前月比 18.3%と増加。過去平均（過去 3 年の同月および前後月の 9 カ月平均）比は+70.0%で、過去平均標準偏差（SD）+4.8 となり、例年より多く発生。（図表 1）

■甲乙類は例年より若干多く、丙類は例年より多く発生

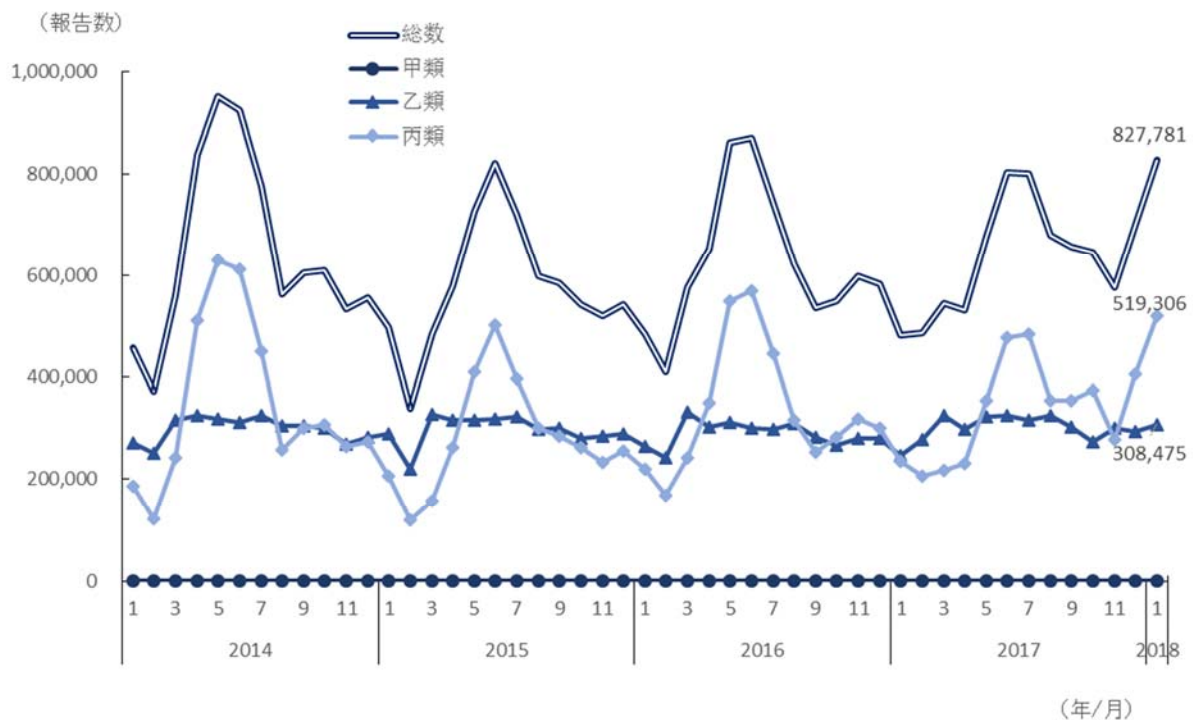
類型（甲乙丙）別*では、甲類の発生はなし。

乙類は 308,475 例（前月比+4.8%）で、過去平均比+15.8%、過去平均 SD+1.8 であり例年よりは若干多い。

丙類は 519,306 例（前月比+28.1%）で、過去平均比+135.5%、過去平均 SD+5.8 と例年より大幅に多い。（図表 1）

*）中国では、病気のうち 39 の感染症を甲類 2（ペスト、コレラ）、乙類 26、丙類 11 に分類。2013 年 11 月 1 日に、乙類であった新型インフルエンザ:A(H1N1)pdm09 を丙類のインフルエンザに集約し、乙類に鳥インフルエンザ A(H7N9)を追加。2016 年 1 月からは、ウイルス性肝炎の内訳に D 型肝炎を追加。（本資料のウイルス性肝炎は、A 型、B 型、C 型、D 型、E 型、その他肝炎を合算。）

図表 1 発病数

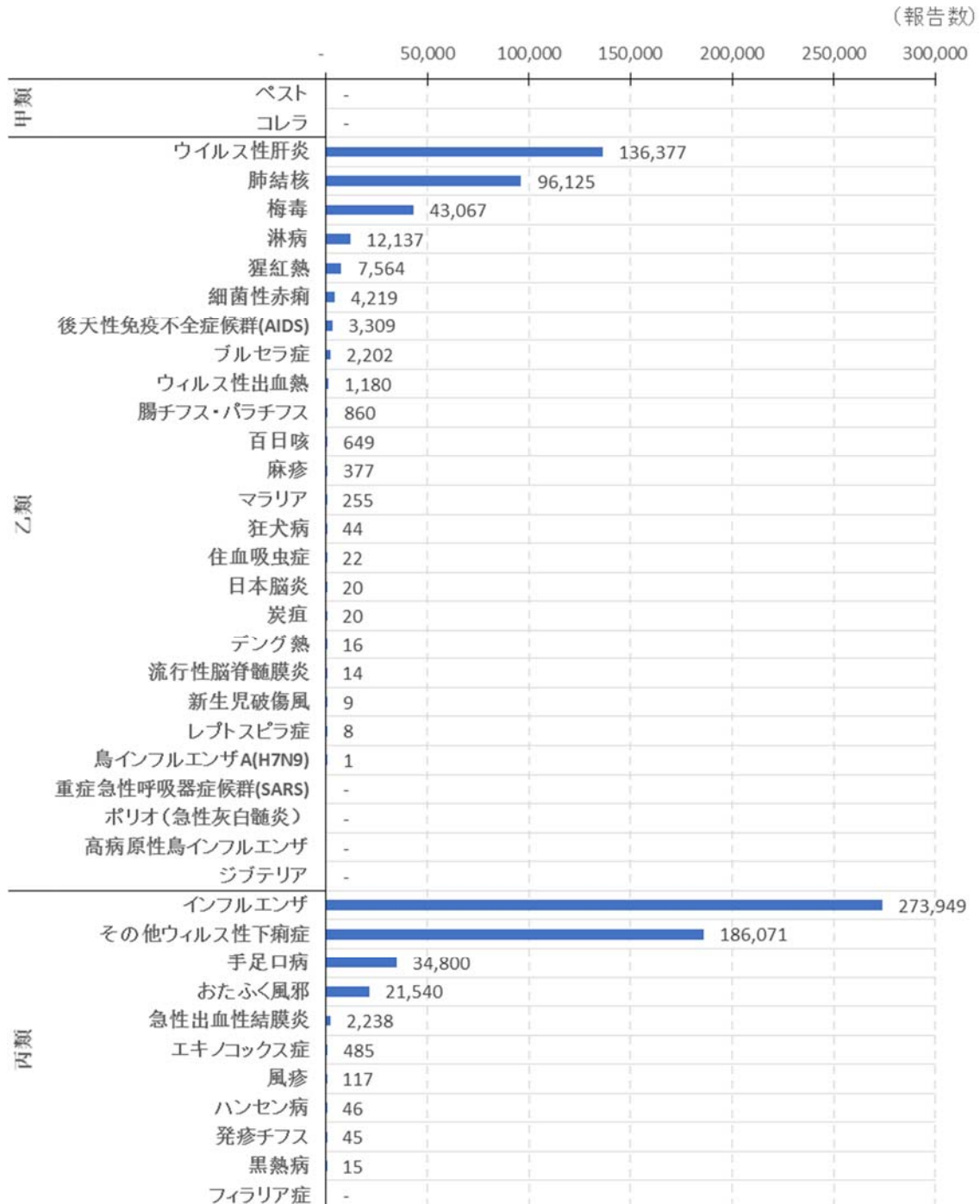


（資料）中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

■「インフルエンザ」が最多で発生

感染症別では、インフルエンザが273,949例と最も多い。前月比+124.9%、過去平均比+993.2%、過去平均SD+34.9であり、例年と比べ非常に多く発生（図表2、図表3）。

図表2 感染症別：発病数（当月）
〈類型別降順〉

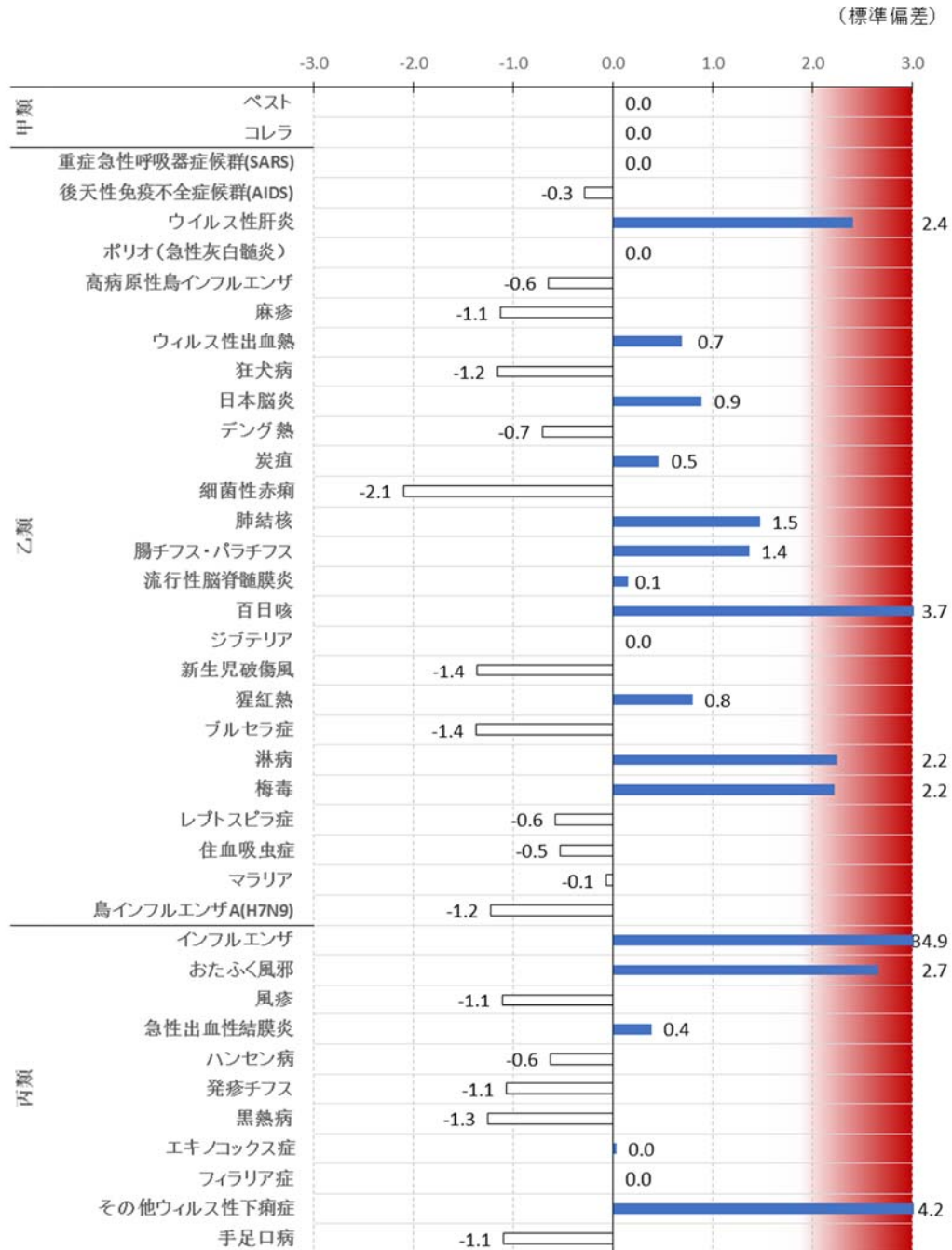


(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

■7つの感染症が例年に比べ非常に多く発生した

例年に比べ非常に多く発生（過去平均SDが+2.0以上）した感染症はインフルエンザ、その他ウィルス性下痢、百日咳、おたふく風邪、ウィルス性肝炎、淋病、梅毒。その中で、インフルエンザ、その他ウィルス性下痢、百日咳、淋病、梅毒の5つは先月に続き例年に比べ多く発生。（図表3）。

図表3 感染症別：過去平均SD（当月）
〈統計記載順〉

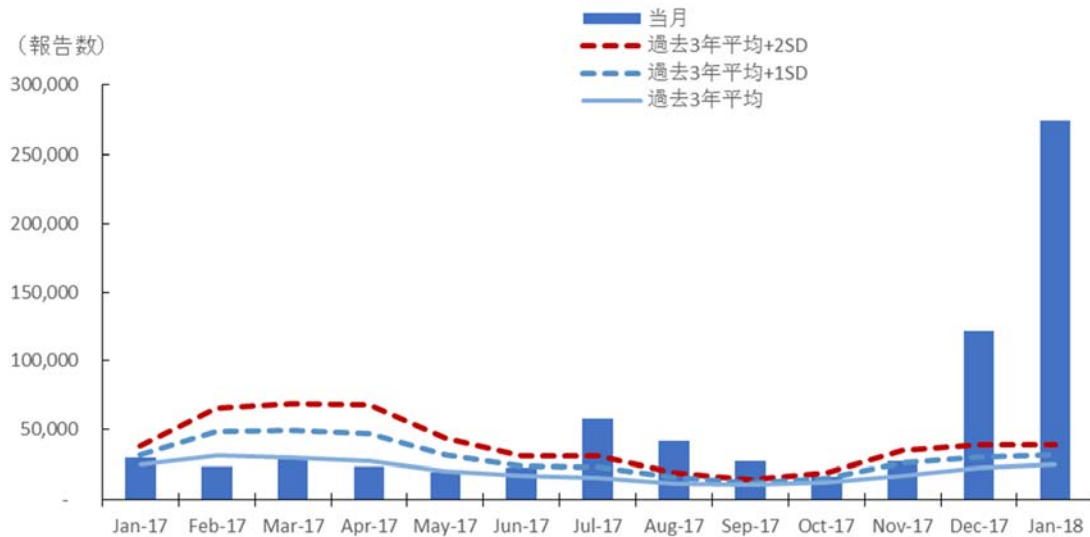


(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

■「インフルエンザ」は当月 27 万例を突破

インフルエンザは 273,949 例であり、先月からさらに 152,149 例増加（図表 4）。

図表 4 発病数（インフルエンザ）



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

■「その他ウィルス性下痢」は 2 カ月連続で例年より非常に多い

その他ウィルス性下痢は 186,071 例(前月比+6.3%)で、過去平均比+81.0%、過去平均 SD+4.2 と先月に続いて例年より多く発生（図表 5）。

図表 5 発病数（その他ウィルス性下痢）



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

参考：発病統計表(2018年01月)

病名	発病数	病名	発病数
甲乙丙類総計	827,781		
甲乙類合計	308,475	丙類合計	519,306
ペスト	-	インフルエンザ	273,949
コレラ	-	おたふく風邪	21,540
重症急性呼吸器症候群(SARS)	-	風疹	117
後天性免疫不全症候群(AIDS)	3,309	急性出血性結膜炎	2,238
ウイルス性肝炎	136,377	ハンセン病	46
A型肝炎	1,329	発疹チフス	45
B型肝炎	109,021	黒熱病	15
C型肝炎	21,743	エキノコックス症	485
D型肝炎	39	フィラリア症	-
E型肝炎	2,762	その他ウイルス性下痢症	186,071
未分類型肝炎	1,483	手足口病	34,800
ポリオ(急性灰白髄炎)	-		
高病原性鳥インフルエンザ	-		
麻疹	377		
ウイルス性出血熱	1,180		
狂犬病	44		
日本脳炎	20		
デング熱	16		
炭疽	20		
細菌性赤痢	4,219		
肺結核	96,125		
腸チフス・パラチフス	860		
流行性脳脊髄膜炎	14		
百日咳	649		
ジブテリア	-		
新生児破傷風	9		
猩紅熱	7,564		
ブルセラ症	2,202		
淋病	12,137		
梅毒	43,067		
レプトスピラ症	8		
住血吸虫症	22		
マラリア	255		
鳥インフルエンザA(H7N9)	1		

(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

本資料は情報提供を目的に作成されたものであり、取引の誘引を意図したものではありません。また、2018年2月12日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものであるが、内容に誤りがないことを保証するものではなく、情報の正確性・完全性・網羅性・商用性については、一切の保証をするものではない。